

日本運動障害研究会史

当番幹事

- | | | |
|------|---|----------------|
| 第1回 | 1991年1月26日(大宮) | 小坂健二・鎌倉恵子・植木 彰 |
| 第2回 | 1991年7月20日(大宮) | 小坂健二 |
| 第3回 | 1992年1月25日(大宮) | 植木 彰 |
| 第4回 | 1992年7月25日(大宮)
特別講演 大江千廣
「定位的視床手術により運動障害がどこまで治療できるか」 | 鎌倉恵子・間嶋 満 |
| 第5回 | 1993年1月23日(大宮)
特別講演 田草川 豊
「ボツリヌス・トキシンによる不随意運動の治療」 | 天草万里 |
| 第6回 | 1993年7月24日(東京)
特別講演 中村隆一
「運動障害の評価法とは」 | 清水夏繪 |
| 第7回 | 1994年1月29日(東京)
特別講演 加藤真吾
「神経疾患の遺伝子診断」 | 石原傳幸 |
| 第8回 | 1994年7月23日(東京)
特別講演 辻 貞俊
「中枢運動系の電気生理学的検査：磁気刺激法を中心に」 | 黒岩義之 |
| 第9回 | 1995年1月28日(東京)
特別講演 千野直一
「機能障害と能力低下の評価について」 | 小坂健二 |
| 第10回 | 1995年7月22日(東京)
特別講演 服部孝道
「神経疾患と排尿障害」 | 鎌倉恵子 |
| 第11回 | 1996年1月27日(東京)
特別講演 進藤政臣
「痙縮の脊髄神経機構」 | 長岡正範 |
| 第12回 | 1996年7月13日(東京)
特別講演 岩田 誠
「基底核疾患の画像診断」 | 山根清美 |
| 第13回 | 1997年1月25日(東京)
特別講演 有村公良
「末梢神経起源の muscle cramp, myokymia の病態機序」 | 斉藤豊和 |
| 第14回 | 1997年7月19日(東京)
特別講演 藤島一郎
「球麻痺・仮性球麻痺と嚥下障害」 | 江口 清 |
| 第15回 | 1998年1月24日(東京)
特別講演 田代邦雄
「脊髄疾患の神経症候学」 | 厚東篤生 |

- 第16回 1998年7月18日(東京) 野元正弘
特別講演 柴崎 浩
「随意のおよび不随意的抑制(陰性運動)について」
- 第17回 1999年1月23日(東京) 林 明人
特別講演 水野美邦
「家族性パーキンソン病における最近の知見」
- 第18回 1999年7月10日(東京) 葛原茂樹
特別講演 片山容一
「パーキンソン病の脳神経外科的治療」
- 第19回 2000年1月29日(東京) 江藤文夫
特別講演 渡曾公治
「バイオニクスからみた運動障害」
- 第20回 2000年7月15日(東京) 山本光利
特別講演 折笠秀樹
「神経疾患における評価尺度の信頼性と妥当性」
- 第21回 2001年1月20日(東京) 佐橋 功
特別講演 直井 信
「パーキンソン病:その病因と神経細胞の保護」
- 第22回 2001年7月28日(東京) 丸山哲弘
特別講演 森 悦朗
「皮質・皮質下回路の損傷と認知・行動障害」
- 第23回 2002年1月19日(東京) 山本絃子
特別講演 橋本隆男
「血管障害性舞蹈病とヘミパリスムの病態と神経機序」
- 第24回 2002年7月27日(東京) 大塚美恵子
特別講演 金子清俊
「変異型クロイツフェルト・ヤコブ病」
- 第25回 2003年1月25日(東京) 内藤 寛
特別講演 幸原伸夫
「神経筋接合部障害による脱力の生理学」
- 第26回 2003年7月26日(東京) 内海裕也
特別講演 横地房子
「脳深部刺激療法」
- 第27回 2004年1月24日(東京) 中村良司
特別講演 郭 伸
「ALSのグルタミン酸受容体異常と病因との関連について」
- 第28回 2004年7月17日(東京) 野川 茂
特別講演 立花久大
「パーキンソン病の認知機能障害」
- 第29回 2005年1月22日(東京) 三輪英人
特別講演 篠遠 仁
「パーキンソン病およびその関連疾患における脳内コリン
神経系の病態 —PETによる測定—」

- 第30回 2005年7月23日(東京) 大越教夫
特別講演 水澤英洋
「純粹小脳失調症—脊髄小脳失調症6型を中心に—」
- 第31回 2006年1月21日(東京) 栗田 正
特別講演 宇川義一
「ヒトで大脳基底核は何をしているか?」
- 第32回 2006年7月29日(東京) 山脇健盛
特別講演 梶 龍兒
「ジストニアはストリオゾーム病か?」
- 第33回 2007年1月20日(東京) 中尾直樹
特別講演 石川正久
「特発性正常圧水頭症における歩行障害」
- 第34回 2007年7月14日(東京) 鈴木則宏
特別講演 吉井文均
「パーキンソン病症候の新しい評価法について」
- 第35回 2008年1月26日(東京) 荻野 裕
特別講演 平山恵造
「不随意運動 —臨床的把握と史的概説—」
- 第36回 2008年7月19日(東京) 柏原健一
特別講演 植木 彰
「日常生活を重視したパーキンソン病患者の長期ケア」
- 第37回 2009年1月17日(東京) 高橋一司
特別講演 山本光利
「What is Parkinson's Disease?」
- 第38回 2009年7月18日(東京) 小國英一
特別講演 大木 紫
「腕の到達運動を用いた機能的運動解析」
- 第39回 2010年1月16日(東京) 荒木信夫
特別講演 高尾昌樹
「Movement disordersの神経病理学: overview」
- 第40回 2010年7月24日(東京) 後藤啓五
特別講演 佐橋 功
「神経筋接合部疾患の病態」
- 第41回 2011年1月15日(東京) 吉井文均
特別講演 岩田 誠
「Babinskiと錐体路症候」
- 第42回 2011年7月23日(東京) 荻田典生
特別講演 戸田達史
「パーキンソン病の運動障害の遺伝, 環境と病態について」
- 第43回 2012年1月14日(東京) 野倉一也
特別講演 飯塚高浩
「抗NMDA受容体脳炎における異常運動の臨床と病態」

- 第44回 2012年7月21日(東京) 玉岡 晃
特別講演 岡本幸市
「前頭側頭葉変性症 (FTLD) と運動ニューロン疾患 (MND) との関連」
- 第45回 2013年1月26日(東京) 海田賢一
特別講演 下畑享良
「多系統萎縮症における突然死の防止を目指して」
- 第46回 2013年7月6日(東京) 卜部貴夫
特別講演 冨本秀和
「血管性認知症とアルツハイマー病；脳小血管病の立場から」
- 第47回 2014年1月18日(東京) 武田 篤
特別講演 服部信孝
「パーキンソン病治療における UP-TO-DATE」
- 第48回 2014年7月19日(東京) 西田 浩
特別講演 吉田真理
「運動障害のリハビリに関わる神経疾患の理解：
進行性核上麻痺 (PSP) と大脳皮質基底核変性症 (CBD) の神経病理を通して」
- 第49回 2015年1月17日(東京) 服部信孝
特別講演 高橋良輔
「パーキンソン病の動物・iPS細胞モデルの現状と展望」
- 第50回 2015年7月18日(東京) 上坂義和
特別講演 北澤 茂
「到達運動の最適化と誤差の信号」
- 第51回 2016年1月30日(東京) 前田哲也
特別講演 武田 篤
「パーキンソン病治療の最新動向, そして随伴する認知症への対応」
- 第52回 2016年7月16日(東京) 崎山快夫
特別講演 濱田 雅
「磁気刺激によるパーキンソン病治療」
- 第53回 2017年1月21日(東京) 富山誠彦
特別講演 平 孝臣
「不随意運動に対する脳神経外科治療の進歩」
- 第54回 2017年7月22日(東京) 宮地隆史
特別講演 村田美穂
「パーキンソン病治療の変遷と今後の展開」
- 第55回 2018年1月20日(東京) 河野 豊
特別講演 荒牧 勇
「スポーツの脳構造画像解析」
- 第56回 2018年7月21日(東京) 濱田 雅
特別講演 花島律子
「パーキンソン病の病態生理」

- 第57回 2019年1月26日(東京) 宮本智之
特別講演 瓦井俊孝
「遺伝性ジストニア update」
- 第58回 2019年7月20日(東京) 市川 忠
特別講演 関 和彦
「協調的筋活動を作り出す神経機構」